

令和2年度 第1回 長浜市子ども・子育て会議 会議録

日 時 令和2年7月13日(月) 午前10時～午前11時12分
場 所 ながはま文化福祉プラザ 2階 多目的ホール
出席者 【委員】 西川委員、大橋委員、曾根委員、杉江委員、内藤委員、西村委員、
長委員、高橋委員、吉井委員、山路委員、池田委員(11人)
【事務局】 健康福祉部長：福永、次長：長谷川
幼児課 : 富永、中島、小川、加藤
子育て支援課：益田、今田、伊吹、前畷、清水
欠席者 曾我委員、小谷委員、赤井委員、宮本委員(4人)
傍聴者 なし

≪開会≫

事務局

「長浜市子ども・子育て会議規則」第4条第3項の規定のとおり、委員の過半数の出席があるので、会議が成立していることを報告します。

～健康福祉部長より、開会のあいさつ～

事務局

委嘱状については、市長から直接お渡しさせていただくのが本来ですが、新型コロナウイルス感染予防のため、本日の資料と併せて席に置いていることを了承願います。

本会議委員の任期は、令和2年4月1日から令和4年3月31日までの2年です。併せてよろしく願いいたします。

～委員自己紹介～

～職員紹介～

～資料の確認～

事務局

会長・副会長の選出について、「長浜市子ども・子育て会議規則」第3条第2項会長は委員の互選と規定されております。皆さまのご意見をいただきたいと思います。

委員

前年度も会長をしていただきました西川先生にお願いしたいと思いますが、皆さまいかがでしょうか。

委員

異議なし

事務局

西川委員お願いいたします。

規則第4条第2項の規定に基づき、会長は会議の議長とあります。西川委員さまには会長席の方にお移りいただき、議長として議事の進行をお願いいたします。

会長

ただいまご推薦いただきました西川でございます。新しい委員の皆さまもたくさんおられます。その中で2期の進捗の管理をしっかりとやっていかなければならないというのがこれまでの意見でございましたので、皆さまのご意見ができるだけこの会議で反映できるように精一杯努力したいと思っております。皆さまのご協力どうぞよろしくお願いいたします。

それでは議事の進行をさせていただきます。規則の第3条第2項に副会長は会長から指名と規定されていますので、指名をさせていただきます。

以前から引き続き関わっていただいております大橋委員に副会長をお願いしたいと思っております。大橋委員、どうぞよろしくお願いいたします。

～拍手～

副会長

ただいま副会長を仰せつかりまして恐縮しております。なにぶん力は及びませんけれども、会長と共にしっかりと努めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

～拍手～

会長

よろしくお願いいたします。

それでは議事を進行いたします。②第1期長浜市子ども・子育て支援事業計画の成果と課題について事務局から説明をお願いいたします。

事務局

会議の目的や子育て支援について説明

事前配布資料 資料3について説明

第1期計画の保育等の事業量の達成状況と今後の見込量について説明

事前配布資料 資料4について説明

第1期計画の実績と課題その評価について説明

会長

大変限られた時間で第1期の事業計画の成果と課題をまとめていただくという非常に困難なことを事務局ありがとうございました。限られた時間でのご説明でしたので詳細にわたっては無理ですけれども、いかがでしょうか、ご意見ご質問ありましたら。先ほどのご説明でもありましたけれども、第2期にその成果や課題を含めて事業計画をしているというところもありましたので、次の議案を聞きながらおさらいしていただけたらと思います。またそこでご質問ご意見まとめて結構ですのでお願いいたします。

では次に進めさせていただきます。③第2期長浜市子ども・子育て支援事業計画について事務局から説明をお願いいたします。

事務局

事前配布資料 第2期長浜市子ども・子育て支援事業計画概要版により説明

会長

1期と重ねて繰り返しになりますが、重点施策というのができましたよということで概要版の1ページの上の方に3つあがっている、それを重点として具体的にこの会議の限られた時間で何を見たらいいかというところで成果指標というのが3ページ以降に出ていまして。ここができたかどうかというのをしっかり点検していこう、そして数字だけじゃなく。この会議でよく出ていましたが、数字だけが増えればいいのか、というところに疑問が集中していましたので、中身についてどうであったか、例えば参加者数が増えたとしても満足度はどうだったのかとか、そういうところをしっかりと見ていきましょうという確認をして第2期の計画に反映されているということです。そういうところで重点施策と成果指標ができたというのが第2期の大きな特徴であるご説明をいただきましたが、いかがでしょうか。ご質問やご意見がありましたらお願いいたします。

先ほどの第1期の成果と課題を含めてでも結構でございますのでいかがでしょうか。

限られた時間でこの膨大な文言をちゃんと読み込んで質問や意見を言うのは、至難の業でございますので、先ほどもありましたけれども、年何回か行われる中で、いろいろな進捗状況が出てまいりますので、そこでそれぞれのお立場でみなさん関わっていただいているお立場が違いますので、気になるところとか、お気づきの点は出していただけたらと思います。

それでは、次に「④新型コロナウイルス感染症に伴う子ども・子育て支援関連事業について」事務局からお願いいたします。

事務局

事前配布資料 資料5 コロナ禍での市の支援事業について説明

会長

皆さま、それぞれのお立場で活動されている訳でございますので、新型コロナウイルス感染に関して困っているということを出し合っただけであれば、共有できると良いと思いますので、いかがでしょうか。

では私からよろしいですか。非常にいろいろな取り組みをされていることよくわかります、給付というのも多いですが、いろいろな事業をやっておられますが、情報が散乱してどこを見たらいいのか分からないということがあります。

例えば重点施策の一つで頑張っている「ながまるキッズ！」アプリとか、新型コロナウイルスに関して、ここを見れば全部の事業がわかるように何か工夫をされているのでしょうか。

事務局

アプリにそのような情報が集約されているわけではありませんが、市のホームページにはリンクしていて市のホームページではまとめさせていただいています。しかし、それ以外に何か冊子を作ったりというようなことはしておりません。

会長

市のホームページでは新型コロナ関連の給付金関連事業がクリックすれば全部見られるという理解でよろしいですか。

事務局

はい、そうです。

会長

多分皆さまはそこがお困りだろうと思いました。

他にはいかがでしょうか。この会議は、意見は全部記録されますし、公開もされるということで、やはり広く課題になっていることも改善されるという動きに繋がりますので、是非ご意見を出していただければと思います。

委員

新型コロナ関連で困ったことがありました。私どもは、民間で放課後児童クラブを運営しておりますが、学校の臨時休業に伴い開設を左右されます。前日夜に急に明日から学校が休みですといわれても、保護者への連絡とか、クラブの支援員の配置など非常に困った記憶があります。急を要する話であろうと思うので、ある程度理解するのですが、現場対応としては非常に困りました。公立のクラブも対応は一緒だったのでしょうか。我々民間と同じ対応だったのでしょうか。

事務局

公設も16か所放課後児童クラブを運営させてもらっていますが、同じように夜に、明日から学校が休みだという話を聞き、民間への連絡もさせていただきました。

3月は朝から放課後児童クラブでお子さんを預かるという形でしたが、それでは放課後児童クラブの負担が大変だということで、どうしてもご家庭で見られないお子さんについて、午前中は学校で一時預かりをし、そのあとの時間を放課後児童クラブで引き続き見るという形でした。民間もその所は同じだったと思います。一応整理としましては、小学校で一時預かりを学校の先生方でしていただきながら、放課後の時間を公設民間双方の放課後児童クラブで受けさせていただくという形でさせていただきました。

しかし、保護者はどうしても学校ではなくて最初から民間クラブに預かってほしいと直接民間クラブにお声をかけられた方がおられたともお聞きしています。

当然また第2波等があるかと思います。こうした第1波のところで出た教訓をしっかりと第2波の対応にいかしていきたいと思います。

委員

とにかく印象としては大変困りました。緊急を要するものでありますから、現場の状況ももう少し加味していただければなと思います。

会長

貴重なご意見をありがとうございます。

この件について今、事務局もおっしゃいましたけれども第2波やあるいは他の災害対応もそうなのですが、想定外だったということでは済まされない状況もありますので、そのあたりを今後にかすというところで、お願いしたいと思います。

委員

私は子育て支援センターサンサンランドで未就園児を対象に先生方と一緒に子育て支援のボランティアをさせていただいております。緊急事態宣言があった時点で、サンサンランドも閉館しました。今後の予定としては9月にスタッフ会議をして今後のことを相談させていただきます。ただ今まで通りの活動はできないと考えております。子育て中のお母さんにとって何が一番不安かという、何かが起こって支援センターを閉館してしまうことだと思います。内容を考えながらできるだけ開けておく状態を続けるということがお母さん、お子さん方にとって一番安心されることだと思います。私たちも人数、内容を吟味しながら今後活動していかないとはいけなくてと考えております。20年間ボランティアを続けていますが、今回のことは本当に想定外だったもので、今まで通りは難しく、今一度考えていかないとはいけなくて強く思っております。皆さまからこの場でご意見聞かせていただきたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。

会長

今、子育て支援センターでのボランティアはやっていないが、お母さんは安心のところではやっぱり繋がりを必要としているということですね。

委員

密になるのはいけませんので、私たちはサンサンランドには出向きませんが、メンバーの方たちには町で会うなど、いろんな形で個人個人の繋がりを持っていただくようにはお願いしていますが、団体より個々の繋がりが強い状態になっていくのかと感じております。

会長

団体として活動できないけれど、お母さんの不安ということを解消するために繋がっているということは大事にしている、それはかなり個人レベルの活動にはなってきているというご報告と、併せて何か良い知恵、アイデアがあればということですが、いかがでしょうか。何かそれぞれのお立場で困っていること、あ

るいはこういう風にしてはどうかご意見やご質問あればお願いします。

委員

地域で放課後児童クラブの事務局をさせてもらっています。3月の緊急事態宣言の時にもいち早く支援員が協力させてもらおうということで開設し、ずっと続けていました。3月から3月末については、市から経済的に支援していただきすごく助かりました。今後について、感染というリスクを支援員がすごく怖がっていますので、そのあたりも市で考えていただき、少しでも支援員についても不安が解消できるように配慮していただきたいと思います。

会長

今すぐ、事務局は「はい、こうします」とは言えないと思いますが、ただ、今のお話の流れでいうと、市の応援が3月末にあった、これは経済的なもので、非常にうれしかった、しかしそのあたり重点的に考えていかないとだめだということです。貴重なご意見ありがとうございます。

委員

学校現場から少しお話させていただきます。

4月になり学校休業の中で、どうしていったらいいかと長浜市からも教えていただいて、学校の中でマニュアルを作っていきながらやっています。学校は6月から再開をしておりますが、その中で学校というのは一番3密になる状況があるのではないかと考えております。窓の換気や、消毒作業、手洗いの指導、ソーシャルディスタンスを守っていくなど、今までとは違う形の業務、仕事が多々出てくるというのが現実でございます。資料5にあります「緊急スクールサポートスタッフ」を今後入れていただけるということで、是非とも早いうちに入れていただくと学校としても助かります。

それと休業中のことですが、いろいろとアプリ等ネットを使った題材の紹介ということで大変それについてはありがたいことですが、ご家庭によってはネット環境が整っていないという状況もございますので、家庭学習でいいますと差が出ているというのが現実ではないかと考えております。是非ともそのあたりについてもご支援をお願いしたいと思います。

3点目ですが、コロナ禍で一番学校の中で心配なのが心のケアという部分でございます。もちろんいろんな部分で支援等はさせていただくのですが、子どもたちの心というものについてケアしていくということが今後大事になってくるのではないかと考えております。もちろん保護者の皆さまは子育て相談窓口というのを開設いただいておりますが、現、37件と数字が出ておりますが、今後第2波、

第3波が来た時に子どもたちの心のケア、お母さん方のケアというあたりを是非とも継続してやっていただけると学校としてはありがたいなと思っております。

会長

3点ご意見をいただきました。1つは「緊急スクールサポートスタッフ」をとにかく急いでとお話がありました。それから2つ目はネット環境の差による子どもの学びの継続の質というところ、3番目は心のケアということで、これもやはり大学でアンケートを取ってみますと、結構このコロナに関して希死念慮の学生が増えたというところも描き出されてしまっているのです、そのあたりの対応が非常に早急に求められると思います。何か今のご意見に対して事務局いかがでしょうか。承りましたということならそれで結構です。

ちなみに「緊急スクールサポートスタッフ」はいつごろからか見通しがあれば教えてください。

事務局

今予算の段階ですので、これから動き出すと思います。

会長

他いかがでしょうか。

委員

意見というよりは現状報告になります。民間の保育園です。臨時休業が発表された後も希望保育という形で子どもさんをお預かりするということで常に感染の危険性と隣り合わせで、また、家庭を持っている職員が多い中で不安を抱えながら、保育園運営をしています。子どもさんをお預かりする以上は命をお預かりしている訳ですのでしっかり見せていただく必要がありますし、子どもさんがおられるということはプラス保護者とも接触するというところで、玄関に消毒薬を置いたり、玄関で体温をチェックなど通常外の業務が今もあるという状況です。

園によっては保護者も玄関からそれ以上入っていただかないと決めておられる園もあるみたいですが、小さな子どもさんをお預かりするとなるとそういう訳にもいかず、園の中には限られた人ですけど多数の人が出入りするというのが実情で今も保育・教育に当たっている現状です。特に東京でも毎日200人以上の感染者が出ている中で、第2波への心配で、いつうちの園に感染の人が出て園を閉めないといけなくなるのではないかという恐怖とともに過ごしている毎日です。

その中で感染を予防するために随分行事が縮小され、お祭りだったり参観日だったり、プールもできないというような毎日で、子どもたちには今しかない訳で

すから、今の子どもたちの経験や育ちをどういう風にしていったらいいのだろうか、園長や職員と相談しながら手探りの状態で、こんな状況がいつまで続くのか不安を持ちながら毎日保育させていただいております。報告になりますが以上です。

会長

これは全国的に教育現場、保育現場だけでなく安心安全とその学びの質という両方、二律背反するもののような感じになっていますが、やはり両立していかなければならないという苦悩、先ほど学校現場でもありましたが、業務の負担が増しているという意見だと思います。負担増と不安増というものをどう解消していくか、ご意見の中で常に根底に流れているような感じがいたします。貴重なご意見を出していただきましたので、是非参考にしていただければと思います。

委員

私も会社で働く親がたくさんいる中での現状の報告をさせていただきたいと思います。

初めて小学校が休校になった時は、たくさん働く親がいるので、どういう風に支援をしていけばいいのかと考えていたところ、確か長浜市からだったと思うのですが、休業になるので会社として支援をしてくださいというような書類がファックスで届いたように思います。それがあったこともあって、割と社内での対応がスムーズに進みました。親さんの不安を少しでも減らしていくために私たちは子どもを会社に連れて来てもいいということを決めました。通常とは違ってコロナの関係であるので、子どもの感染はどういう風に防ぐのか、様々な消毒はどのようにするのか、全くの素人たちの集団ですので、分からなくていろんな資料を見たりしながらやりました。もしこれからも第2波、第3波がある中で会社として子育て支援をする中で、子どもを連れて来るという時にこういうことに気を付けたらいいですよということも案内の中にいただけるとチャレンジする企業が増えてくるのではないかと思います。

会長

長浜市からの励ましが非常に後押しになった、これからも引き続きということでありました。御企業は確か子育て表彰を受けておられる企業で積極的に範となって動いていただいていると感じました。ありがとうございました。

時間が限られておりますので、これで最後にさせていただきますが、またご質問やご意見がありましたら、どうか事務局に出していただければと思います。それでは進行を事務局にお返しいたします。

事務局

委員の皆さま、それから会長さま、ご進行の方誠にありがとうございました。
それでは閉会にあたり、健康福祉部次長長谷川よりお礼を申し上げます。

～健康福祉部次長より、お礼の言葉～

事務局

次回は9月か10月ごろに開催をさせていただきたいと考えております。後日
ご案内をさせていただきますのでよろしくお願いしたいと思います。

本日の会場でありますこちらさざなみタウンは、今年の12月にオープンした
ところです。お時間があれば館内を見ていただきたいと思います。

それでは第1回の子ども・子育て会議を閉会とさせていただきます。ありがと
うございました。お気をつけてお帰りください。

《閉会》